

この授業は終了しました。

日本古典文学史b 中世文学史

水4 柴佳世乃先生

キーワード: 古典文学 中世 院政期 鎌倉時代 和歌 説話

←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

国文学研究資料館【<http://www.nijl.ac.jp/>】

→ 日本文学研究の論文・資料を収集する際の基本的なデータベースが載っています。

国立国会図書館【<http://opac.ndl.go.jp/>】

→ 文学のみならず、歴史学研究、民俗学研究など、総合的に資料・論文を検索する際に便利です。

JapanKnowledgeジャパンナレッジ【学内限定】

→ 『日本国語大辞典』などの事項を、まとめて検索できるサイトです。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

日本中世文学に関する図書は、分類番号が910.24の書棚にありますので、直接その場所に行き、どのような本があるのか手にとってみましょう。

★のついている図書は、授業期間中(4月~8月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

『編年中世の文学：中世文学小事典』 浅見和彦 [ほか] 著 新典社 1990

→ この授業のテキストです。50年ごとに年代を区切って文学作品を並べ、解説を施してあります。授業で取り上げ、気になった作品は、ぜひ本ページ末尾で紹介するシリーズにてどんどん読んでみましょう。

★【発注中】

『年表資料 中世文学史』 藤平春男,井上宗雄,山田昭全編 笠間書院 2008

→ 年表および資料(著名作品の本文抜粋)を骨格とし、適宜、図版が掲載されています。付録に関係系図も付されています。

★【発注中】

『中世の文学』 久保田淳,北川忠彦編 有斐閣 1976

→ 中世の展開と共にテーマを設定し、それぞれの文学作品や人物について解説しています。読み物としても興味深いです。私の学部時代、この本が教科書でした(なつかしい！)。

★【本館1階書庫 910.24/CHU】

『仏教文学概説』 黒田彰,黒田彰子 和泉書院 2004

→ 上代から中世に至る仏教文学作品を概説したものです。中世文学は、仏教を抜いては語れません。

★【発注中】

『一一・一二世紀の文学』(岩波講座日本文学史 第3巻) 松井健児 [ほか] 執筆 岩波書店 1996

『変革期の文学 1』(岩波講座日本文学史 第4巻) 久保田淳 [ほか] 編 岩波書店 1996

『一三・一四世紀の文学』(岩波講座日本文学史 第5巻) 久保田淳 [ほか] 執筆 岩波書店 1995

『一五・一六世紀の文学』(岩波講座日本文学史 第6巻) 徳田和夫 [ほか] 執筆 岩波書店 1996

『変革期の文学 2』(岩波講座日本文学史 第7巻) 久保田淳 [ほか] 編 岩波書店 1996

→ 論文から成る講座のシリーズです。授業で扱う中世文学に関わる巻をあげました。年代ごとに切り口を設定しているので、時代の流れも追うことが出来ます。

★【本館閲覧室4階 910.2/195】

授業で取り上げる個別テーマに関しては、適宜授業中に参考図書を紹介しますが、何と言っても和歌と説話は中世文学の大きな柱です。初心者にも最適な入門書を、以下に挙げましょう。

『和歌とは何か』(岩波新書) 渡部泰明著 岩波書店 2009

→ 初心者にも身近な疑問を入口に、古典和歌の豊富な具体例を読み解いています。1300年も続いた和歌の謎に真っ向から取り組む、刺激的な文学論です。

★【本館閲覧室4階小型 911.101/WAK】

『説話の森：中世の天狗からイソップまで』(岩波現代文庫) 小峯和明著 岩波書店 2001

→ 『今昔物語集』『宇治拾遺物語』や絵巻類の断面から説話世界の深層に分け入り、中世の人々の世界を開示してくれます。これを頼りに、どんどん説話の森の中を歩いてみましょう。(この本は、『説話の森：天狗・盗賊・異形の道化』小峯和明著 大修館書店 1991 を文庫化したものです。)

★【本館閲覧室4階小型 913.47/KOM】

雑誌 雑誌には図書よりも細かいテーマを扱った論文が載っているので、実際に手にとって眺めてみましょう。

『国文学解釈と鑑賞』至文堂 月刊

→ 国文学に関わる事柄を幅広く特集しており、毎月1つの特集を組んでいます。

【本館雑誌閲覧室 90コ】

参考図書(辞書・事典等) 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。

「本館参考」にあるものは図書館内で利用して下さい。

『日本古典文学大事典』大曾根章介 [ほか] 編 明治書院 1998

→ 上代より近世までの日本古典文学を対象として、作者名、書名、作品名、事項など約8,000項目を収録。巻末には日本文学年表、年号一覧、難訓一覧、索引が付いています。

【本館参考 910.2/NIH】

『日本古典文学大辞典』日本古典文学大辞典編集委員会編集 岩波書店 1983-85

→ 近世末までの国文学全般、国語学、関連分野の研究成果を集成編纂した辞典です。事項、人物、作品、編著等の項目が50音順に約13,000項目収録され、作品、編著の項目では、複製・翻刻が紹介されています。

【本館参考 910.3/N77】

文学作品が載っているシリーズとして、以下のものがあります。

— 授業で取り上げた作品は、ぜひ本文を読んでみましょう。 —

『新日本古典文学大系』岩波書店 1989-

【本館閲覧室4階 918/SH1】

『日本古典文学大系』岩波書店 1957-1969

【本館閲覧室4階 918/N77】

『新潮日本古典集成』新潮社 1976-

【本館閲覧室4階】

『新編日本古典文学全集』小学館 1994-

【本館閲覧室4階 918/SH69】

『中世の文学』三弥井書店 1974-

【本館閲覧室4階】

My Book List & Keywords

自分で見つけた図書や、実際に使った検索キーワードなどをメモしましょう。

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)

作成: 千葉大学附属図書館 2010.4.1